

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和7年10月3日

①学校名:	ビジネス・ブレイクスルー 大学(私立)	②所在地:	東京都千代田区六番町1-7 Ohmae@workビル (大学事務局)千代田区二番町3番地麹町スクエア1階					
③課程名:	心理学による経営実践キャンプ							
④正規課程/ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム(短時間)	⑤定員:	若干名	⑥期間:	4か月			
⑦責任者:	川上 真史 教授		⑧開設年月日:	令和7年9月5日				
⑨申請する課程 の目的・概要:	本プログラムは、心理学の知見を活用し、人と組織の力を最大限に引き出すマネジメントスキルを習得することを目的としています。働き方や価値観が多様化する現代において、部下やチームのモチベーションを高め、組織として成果を上げるためには、感情や行動のメカニズムを理解し、科学的に人と向き合う力が求められます。講座では、心理学の基礎理論から、コミュニケーションの改善、チームビルディング、リーダーシップ開発など、経営・現場の実践に直結するテーマを扱います。自らの思考や感情の特性を理解し、他者との関係性をより良くするためのスキルを、実践的なワークを通じて体得します。受講後は、心理学的アプローチを通じて、人材育成や組織活性化をリードし、人的資本経営を推進できる人材としての成長が期待されます。							
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	○	3 中小企業活性化	○	5 環境保全	7 医療介護	9 起業	
	2 地方創生		4 DX		6 就労支援	○	8 ビジネス等	○
⑪履修資格:	学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者							
⑫対象とする職 業の種類:	企業・各種団体における、経営を含む管理職業務、マネジメント業務を中心とする、社会人一般							
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能)							
	<ul style="list-style-type: none"> 心理学の基礎理論(動機づけ、認知、感情、行動変容など)に関する知識 職場でのコミュニケーション改善、チームビルディングに活かす心理学的手法 自己理解・他者理解を深めるためのワークやフィードバック技法 ストレスマネジメント、メンタルヘルス支援、モチベーション向上の実践スキル 組織内の人材育成・リーダーシップに応用できる心理的マネジメント技術 							
⑭教育課程:	(得られる能力)							
	<ul style="list-style-type: none"> 自他の感情や行動を的確に理解し、円滑な人間関係を築く力 チームや部下のやる気を引き出し、生産性を高めるリーダーシップ能力 心理的安全性の高い職場環境をつくるマネジメント力 不確実な環境下でも冷静に判断・対応できる自己統制力 人の力を活かし、組織成果につなげる人的資本経営の実践力 							
⑮修了要件(修了 授業時数等):	7単位に相当する学修を、44時間分のオンデマンド型オンライン授業と、16時間相当のリアルタイム型オンライン授業により行う。複数の提出課題を課し、学修成果を総合的に判定する。その判定は⑳に記載する方法にて行う。							
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	履修証明書							
⑰総授業時数:	60	時間	⑱要件該当 授業時数:	60	時間	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	100	%
⑲該当要件	企業等	双方向	○	実務家	○	実地		

⑳成績評価の方法:	本プログラムを構成する講義科目の7割以上の受講と、最終課題の提出をもって評価し、60点以上を合格とする。この場合、次の区分によりA+、A、B、C、Fの評語をもって表し、A+、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。 A+・・・100点～90点 A・・・89点～80点 B・・・79点～70点 C・・・69点～60点 F・・・59点以下
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条を踏まえ、公益財団法人日本高等教育評価機構の点検・評価項目に沿って自己点検・評価を行い、その結果を大学のWebサイトで情報公開する。
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対しアンケートを実施し、効果を検証する。
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 企業経営者で構成される複数の外部メンバーが参加する「第三者評価会議」を実施し、同会議の中で本学の教育課程の編成等に関して意見・評価・提言を行う。 また、外部の企業経営者等の有識者を複数名招き、本学教職員も参加する「コンテンツ会議」を隔月で開催し、外部人材からは現在の実業界の課題やトレンド、人材育成の傾向などに関して本学に対して提言がなされている。またコンテンツ会議内で本学の教育課程そのものについて直接的に提言がなされる。 「第三者評価会議」並びに「コンテンツ会議」で討議・提案された内容は、教授会をはじめとした関係機関において教育課程の編成に関する事案が審議・決定されるプロセスにおいて、重要な参考情報として活用され、必要に応じて教育課程に反映される。
	(自己点検・評価) 企業経営者で構成される複数の外部メンバーが参加する「第三者評価会議」を実施し、同会議の中で本学の自己点検評価に関して意見・評価・提言を行う。 「第三者評価会議」で討議・提案された内容は、自己点検評価委員会、大学協議会、教授会をはじめとした関係機関において、自己点検評価に関する事案が審議・決定されるプロセスにおいて、重要な参考情報として活用され、必要に応じて自己点検評価活動・体制に反映される。
㉔社会人が受講しやすい工夫:	24時間365日オープンなオンラインキャンパス。スマートフォン等でも講義の受講が可能のため、通勤や移動中の隙間時間を使って忙しい社会人でも履修ができる。加えてチャットアプリを活用し、スムーズなコミュニケーションを図る。
㉕ホームページ:	(URL) https://pdmc-bbtu.com/

事務担当者名①	石黒 雄大	担当部署:	大学事務局
事務担当者名②			
事務担当者連絡先:	(電話番号)	03-5860-5531	
	(担当係E-mail)	academic@ohmae.ac.jp	
	(担当者①E-mail)	bbtinfo@ohmae.ac.jp	
	(担当者②E-mail)		

- * パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- * 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。